

# 最速かつ確実なリスク管理へ!!!」 ～PDCAサイクルの確立に成功～

東京都

医療法人社団 珠泉会

介護老人保健施設 ウイング

サービス品質検討委員会

発表者 宮森俊輔（介護福祉士）

共同研究者 サ品委員一同

# はじめに

平成11年11月1日開設

入所定員：140名

一般棟 50床2棟

認知症専門棟 40床1棟

通所定員 40名



## 組織理念

「人と社会のケアを通じて、  
健やかな未来社会を創造する」

# 委員会目標

アクシデント・ヒヤリハット  
レポートの見直しを行い、  
最速でご利用者のサービス  
に反映する

## 問題点・・・

押印・記入  
が漏れてる！！

この対応策って、  
どうだったっけ…？

効果確認が  
足りない  
(>\_<)

やり方が  
違う…！？

# 新アクシデントレポート書式

アクシデントレポート	行政報告	全メール	施設長	RM	総務課	各主任	情報管理課	別紙入力	リハFAX	報告者
サービス区分	入所	SS	DC	フロア	F	ご利用者名・年齢	様	歳		
発生日時	平成	年	月	日	時	分				
発生場所	居室( 号室)・トイレ・食堂・レクルーム・浴室・廊下・その他( )									
アクシデント内容	発生状況(図解) ☆必要時 ※外傷は必須									
発生内容 (発生内容を 事実に基づき 記載)	転落・転倒・すり落ち・異食・離棟・離脱・外傷 誤薬・怠薬・形態上の摂取・誤嚥・窒息・その他( )									
初期対応	バイタル測定: T= / Bp= / P=									
Dr報告日時	平成	年	月	日	時	分	Na印			
Dr指示内容	経過観察・受診(即日・後日)・その他( )									
ご家族連絡日時	平成	年	月	日	時	分	※ご家族連絡は最初に連絡した時間を記入(留守でも)			
ご家族名・関係	様	キー	他	配偶者・子( )・子( )	の配偶者・他( )					
説明内容	□ご心配をおかけしてしまい、大変申し訳ございません。 □状態悪化や受診発生等の変化が見られた際には再度ご連絡を致します。 今後状態が落ち着いていけばご連絡は致しません。ご不安やご不明点があればいつでもご連絡下さい。									
ご家族コメント (そのまま記載)							主任 確認欄		生の声 情報更新	
要因分析	□ 原因不明 □ 考えられる要因(内容を下記に記載) ※可能な限り、ご本人への聞き取りを行い、記録する。									
対応策	□ 現状のリスク管理内容を継続 □ 設定不要(理由は下記に記載)						承認印			
回覧印										

おもて

※要因分析・対応策立案後→主任確認→一部コピー→原本は病室へ提出(ファイリング)→全メール実施(府中市基準以外の行政報告事例のみ)  
コピーはカーデックス等指定用紙に保管→回覧印押印→下記効果確認欄を記載→押印→効果確認終了後、指定用紙に保管→委員会後カルテへ

カンファレンス 記録 (対応策立案) ※即実施の内容	<input type="checkbox"/> 現状のリスク管理内容の具体化 <input type="checkbox"/> 新たに立案									
開催日	月 日									
参加者										
承認印										
効果確認	効果確認:( )日間									
回覧印										
効果確認日数(最大7日間)										
1日目	実施	有	無	効果	有	無	確認者印			
月 日	特記									
2日目	実施	有	無	効果	有	無	確認者印			
月 日	特記									
3日目	実施	有	無	効果	有	無	確認者印			
月 日	特記									
4日目	実施	有	無	効果	有	無	確認者印			
月 日	特記									
5日目	実施	有	無	効果	有	無	確認者印			
月 日	特記									
6日目	実施	有	無	効果	有	無	確認者印			
月 日	特記									
7日目	実施	有	無	効果	有	無	確認者印			
月 日	特記									
効果確認 (立案後、最長 で7日間記録) ※結果をふま えて、 カンファレン スを行い、プ ランへ反映										
カンファレンス 記録	<input type="checkbox"/> 期間中の再発: 無・有									
開催日	<input type="checkbox"/> 対応策の有効性: 無・有									
参加者	<input type="checkbox"/> 対応策再検討の必要性: 無・有									
承認印	<input type="checkbox"/> プランへの反映: 無・有									
効果確認	協議内容等									
回覧印										

うら

# 新アクションレポートの変更ポイント①☆最大☆

<b>カンファレンス記録</b> (対応策立案) ※即実施の内容	<input type="checkbox"/> 現状のリスク管理内容の具体化 <input type="checkbox"/> 新たに立案		効果確認:(       )日間	承認印
	開催日			
	月	日		
	参加者			
	回覧印			
効果確認日数(最大7日間)				

対応策立案時

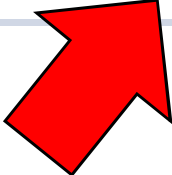
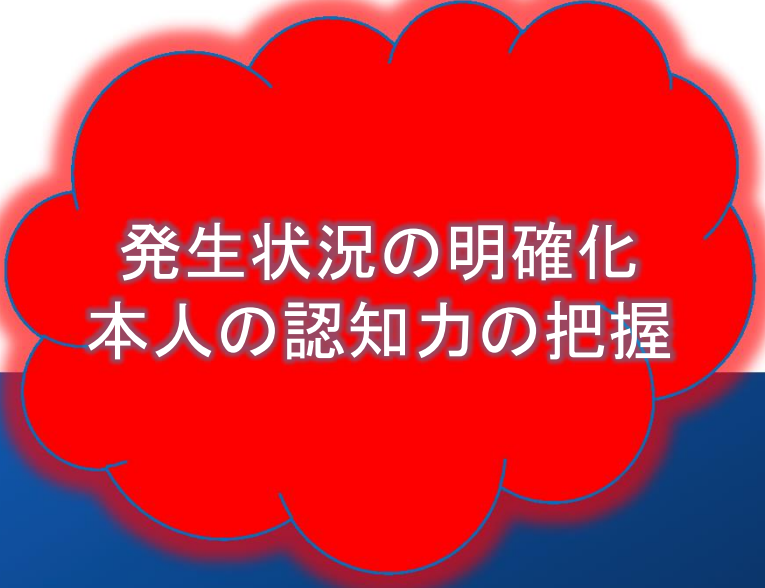
<b>カンファレンス記録</b>	<input type="checkbox"/> 期間中の再発 : 無・有	プランへの反映 : 無・有	プラン入力
	<input type="checkbox"/> 対応策の有効性 : 無・有		
	<input type="checkbox"/> 対応策再検討の必要性 : 無・有		
	協議内容等		
	協議内容等		
開催日			
月	日		
参加者			
回覧印			



完結

効果確認実施後

## 新アクシデントレポートの変更ポイント②

要因分析	<input type="checkbox"/> 原因不明 <input type="checkbox"/> 考えられる要因(内容を下記に記載)    ※可能な限り、ご本人への聴き取りを行い、記録する。
	  <p>発生状況の明確化 本人の認知力の把握</p>

# 新アクシデントレポートの変更ポイント③

	<input type="checkbox"/> 現状のリスク管理内容の具体化	<input type="checkbox"/> 新たに立案
カンファレンス 記録 (対応策立案) ※即実施の内容		
開催日		



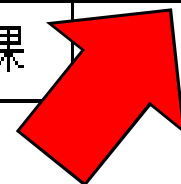
今回の要因に  
対する対応策




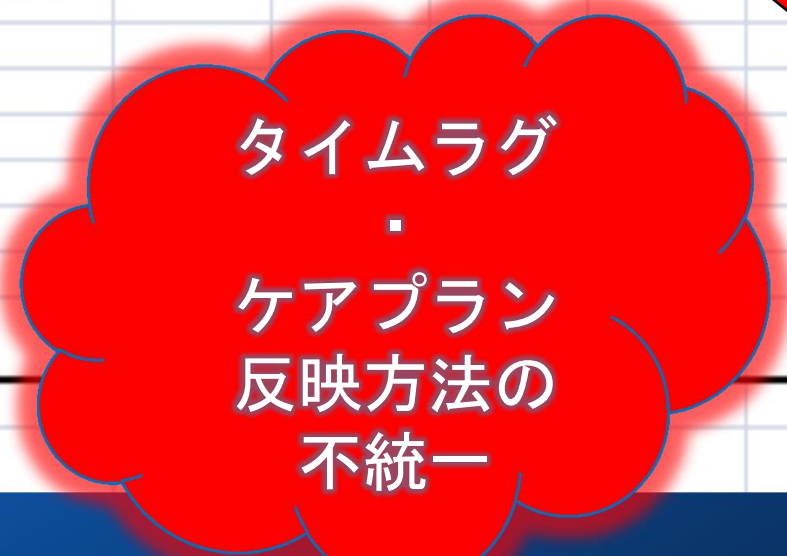
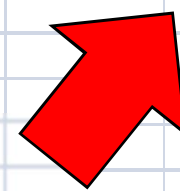
## 新アクシデントレポートの変更ポイント④

		効果確認日数(最大7日間)							
効果確認	1日目	実施	有	無	効果		無	確認者印	
	月	日	特記						
	2日目			有	無			確認者印	
	月								
	3日目			効果	有	無		確認者印	
	日	日	特記						

効果確認が  
不足した事例



# 新アクシデントレポートの変更ポイント⑤

カンファレンス 記録	<input type="checkbox"/> 期間中の再発 : 無・有 <input type="checkbox"/> 対応策の有効性 : 無・有		<input type="checkbox"/> プランへの反映 : 無・有
開催日	<input type="checkbox"/> 対応策再検討の必要性 : 無・有		
月 日	協議内容等 		<p>タイムラグ ・ ケアプラン 反映方法の 不統一</p>
参加者			
回覧印			

完結

# 新アクションレポート運用後の効果☆最大☆

作成者が対応策を立案  
⇒主任が承認

最長  
1か月

- 月末のミーティング
- ・ 対応策妥当性
  - ・ プラン反映 を検討

カンファレンスにて対応策を立案  
⇒主任が承認

最長  
8日間

- 再カンファレンス
- ・ 対応策妥当性
  - ・ プラン反映 を検討

見直し

# 新アクセシビリティレポート運用後の効果

学びの充実

対応策の  
精度UP

取り組み  
姿勢UP

当事者意識

カンファで完結

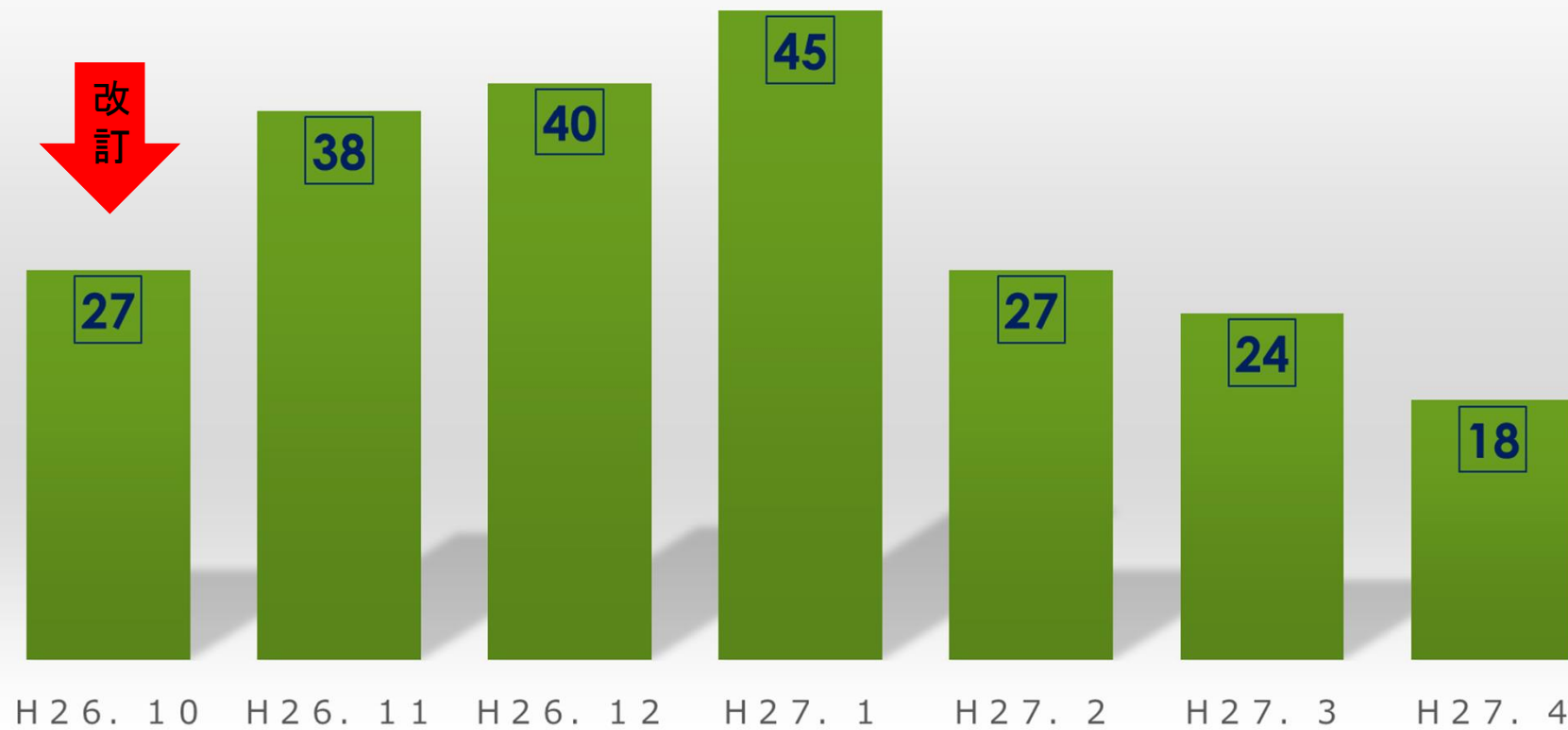
会議時間  
・負担  
の激減

要因の具体化

対応策の  
具体化

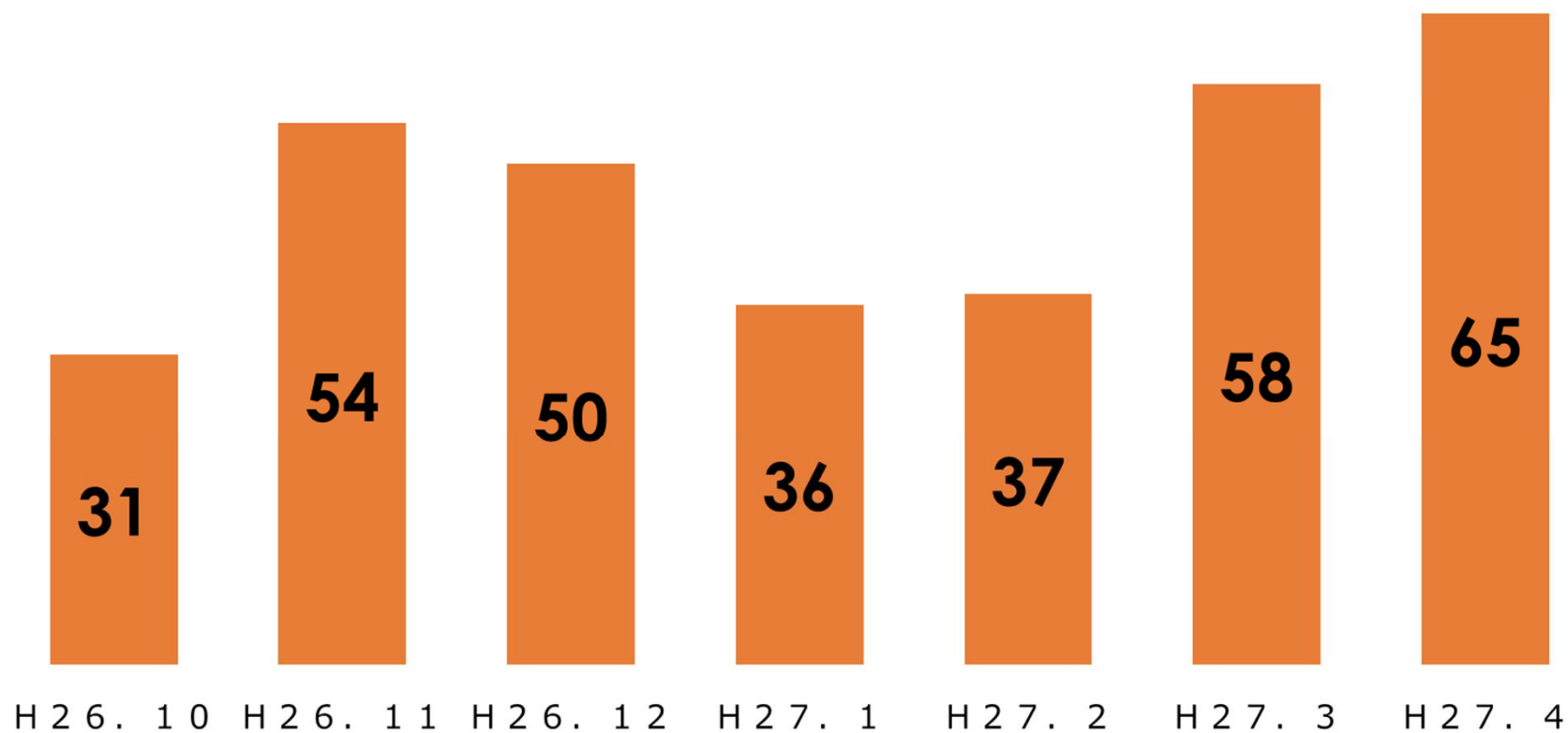
# レポート運用後の効果～アクシデント発生件数の推移～

アクシデント件数（平成26.10～H27.4）



# レポート運用後の効果～ヒヤリハット発生件数の推移～

## ヒヤリハット件数（H26.10～H27.4）

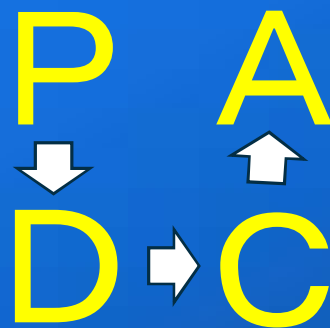


## 今回の活動

使用書式そのものの中でのプロセス確立



実践しやすさ



# 完結

スタッフの意識改革



ご利用者へ・・・  
＼(^o^)／

## おわりに

### 『ひとつのアクシデントよりふたつのヒヤリハット』

アクシデントやヒヤリハットの件数だけで今月はダメだったなあって思う事はありませんか？人は誰でも転んだり怪我したりします。ご高齢の方は特に…。なので、こう考えませんか

### 『ひとつのアクシデントよりふたつのヒヤリハット』

ふたつのヒヤリハットをしっかりと対応しておけば、ひとつのアクシデントは発生しないかもね。そんな感じで委員会をやっていきたいと思います！ヒヤリハットの件数が多いという事は、アクシデントを未然に防げたって証（あかし）ですよ。



**ご清聴、ありがとうございました。**

